

■デジタル技術活用の現状把握のための調査事項一覧

※該当すればプルダウンで「有」or「○」選択、「その他」欄は自由記載、「追加質問」欄は各記載項目を踏まえて自由記載（ワード・パワポ等の様式自由）

		追加質問
GISシステム導入の有無	有	【導入時の課題や工夫等】 ①導入までに検討したこと ・検討開始から導入までの期間、導入したレイヤの選定理由、業務処理体制の見直し、業者選定方法、契約形態、他市との共同導入、自治体内他部署との連携等 ②予算の確保に関して ・予算部署への説明、導入の必要性、人員削減、インシヤルコスト・ランニングコストのどちらが予算折衝で苦労したか等 ③導入までに苦労したこと ④使用に当たっての研修体制等 ⑤システムの更新の有無 ⑥その他 ⑦導入していない場合はその理由

		実地調査	地目認定	地区区分	標準宅地選定	路線価付設	画地認定	画地計算	追加質問
活用しているレイヤ	地番図	○	○	○	○	○	○	○	【更新頻度、更新方法等】
	写真レイヤ		○				○		【撮影種類】航空写真・衛星写真・ドローン 【更新頻度・撮影時期】 【他部局／他市町村との連携の有無とその理由】
	地形図（DM、都市計画基図等）								【更新頻度、更新方法等】
	住宅地図	○					○		【更新頻度、更新方法等】
	台帳情報（土地）								－
	公的評価地点（地価公示、地価調査）								－
	法規制関係（都市計画、道路台帳、防災図面等）								【データ（図面等）の種類】
	評価替え関係（状況類似、標準宅地、路線）	○		○	○	○		○	【路線価試算機能（GIS画面上での自動計算機能）、画地計算機能の有無等】
	家屋関係（台帳情報、家屋現況図等）	○		○	○	○	○		【更新頻度、更新方法等】
	その他								－
実地調査手法 （土地評価のため）	紙図面	○	－						【調査に当たっての準備】 ①調査に当たっての準備方法 ②用意する物 ③調査記録の方法 ④資料紛失防止対策
	タブレット		－						【導入時の課題や工夫等】 ①調査に当たっての準備方法 ②用意する物 ③調査記録の方法 ④調査結果のGISへの登録方法 ⑤セキュリティ対策 ⑥具体的な省力化・効率化となった点
AIの活用の有無									【具体的な内容】（例）地目判読等 【AI活用のメリット、デメリット】（例）効率的な現地調査に資する一方で、まだ精度が十分ではない等
業者委託の有無				有	有	有			【委託内容の概要】（例）地区区分・標準宅地選定・路線価付設等 【委託のメリット、デメリット】（例）コストは嵩むが、評価替え作業を着実に行うことができるようになった等
その他の技術活用の有無									【その他の技術の内容および導入時の課題や工夫等】 【今後導入を検討している技術等】